

2021 年度事業計画

(単位：千円)

<全体事業費 1,566,418>

1 競技運営 272,503

各府県政令市実行委員会や競技団体、その他の関係機関との協議・調整を行い、エントリー募集枠の管理、競技別プログラムの作成、競技役員等の編成、競技用具の整備、表彰用メダルの制作等を行うとともに、テストイベントやオープン競技を実施し、各競技会の開催に向けた機運醸成を図る。

- ① 関係団体との連絡調整 1,000
各競技会の開催準備を進めるにあたり、関係省庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、中央競技団体及び各府県政令市実行委員会等との協議・調整を行う。
- ② 競技大会の運営に関する調査 2,060
各競技会の開催準備を進めるにあたり、2021年に開催される各競技会のテストイベント及び海外類似大会の運営調査を実施する。
- ③ 中央競技団体等との調整会議の開催 385
大会準備の進捗状況をはじめ、大会全般に関する情報共有及び意見交換の場として、中央競技団体等との調整会議を開催する。
- ④ 開催標準経費 222,824
実行委員会の事業計画と収支予算に基づき、各競技会の開催準備を進めるための経費を交付する。
- ⑤ 競技の充実に要する経費 3,850
海外選手の銃器輸出入手続きの一部を業者委託する。
- ⑥ 競技要項等翻訳経費 1,000
海外及び国内の外国人に適切な競技会情報を提供するための競技別実施要項やホームページの更新作業に伴う翻訳を行う。
- ⑦ 競技運営にかかる大会開催支援アドバイザー 1,344
大会開催支援アドバイザーを活用し、専門的な見地から各競技会の競技運営等について助言・指導をいただき、大会本番に向けた準備を推進する。
- ⑧ メダル制作経費 40,040
各競技会の成績優秀者に授与するメダル（金・銀・銅）を制作する。

2 大会運営 403,219

エントリーシステムやヘルプデスク、コールセンター等の大会エントリーにかかる基本機能を継続運用し、大会参加を促す環境を維持するとともに、大会総合本部体制構築、各ビレッジ等の運用マニュアルの作成、参加者・スタッフキットの作成、配布計画、医療救護対策を行う。また、実行委員会や競技団体等と連携し、あらゆる事態の想定と多岐にわたる課題を解決するため、大会運営本部実務者会議等を随時開催し、万全の受入体制の確立し、大会参加者の満足度向上に寄与する取り組みを行う。

- ① エントリーシステムの構築及び運営補助業務 53,028
参加者のエントリーが円滑に進むようシステムの運用とトラブル発生時のサポート及び対策を行う。

- ② 大会案内業務（大会ヘルプデスク・コールセンター含む） 27, 298
大会期間中の案内業務の準備を進めるとともに、ヘルプデスク（メール）・コールセンター（電話）による問い合わせ対応を行い、参加者満足度の向上につなげる。
- ③ 大会総合本部、各ビレッジの運営 33, 116
大会総合本部や各ビレッジの運営マニュアルを策定するとともに、テストイベント等において運営シミュレーションを行う。
- ④ 広報報道セクション 18, 093
大会期間中に広報・報道センターを設置し、メディア向けの情報発信及びメディアのニーズに応じた取材対応を行うための広報・報道対応計画を策定する。また、緊急事態が発生した場合のオンライン記者会見を実施するための準備等を行う。
- ⑤ 参加者キット等 269, 174
大会参加者の満足度を向上させるため、全参加者に配付する参加者キット（Tシャツ、リュックサック、タオル）の作成や参加者向けガイドブックの作成等を行う。
- ⑥ 大学連携事業 500
大学生が大会運営の企画・提案を行うインターカレッジ・コンペティションを開催する。また、大会の成功に結び付く企画（参加者獲得・地域振興など）については、その費用の一部を助成し、実現を目指す。
- ⑦ 関係団体との連絡調整 2, 010
大会を運営するにあたり、必要な関係省庁及び関係団体に対し、協力支援や連絡調整を行うこと及び各府県政令市実行委員会等との協議・調整を行うとともに、日本スポーツ協会、関係省庁、SFTC、東京 2020 をはじめとする関係団体等との連絡調整を図る。

3 交流施策 48, 425

ワールドマスタースゲームズは、大会期間中に参加者同士や地域住民との『交流』を楽しむ大会でもあるため、交流の場の提供を重視し、積極的に取り組む。

ポストコロナの環境においては、各競技開催地域でリアルに交流できる機会とICTを活用してバーチャルに交流できる機会を組み合わせ、参加者の安心・安全を確保すると共に地域の飲食店や娯楽施設と提携して地域の振興につながる交流施策を推進する。

- ① 交流事業関係準備 32, 500
式典前および大会期間中の開催地域で活発な交流を促進するため、以下の業務について業者委託する。
 - ア オープニングビレッジ EXPO
開会式に先立ち設置されるオープニングビレッジにおいて、できるだけ多くの参加者や一般市民が会場に足を運んでもらえる催事を企画し準備を進める。
 - イ フィナーレイベント
閉会式への参加促進に向けて、大阪市と連携し、閉会式当日の市民参加型イベントや閉会式への参加を促す大会期間中の施策を企画し準備を進める。
 - ウ ICTを活用したバーチャルな交流企画
 - ・多言語チャット機能付き動画配信サイト「WMG.ステーション」開設
広域開催での競技や交流の「熱」を伝える仕組みとして、スマートフォン等で視聴できる動画配信サイトを開設する。単なる動画サイトに留まらず、視聴者のつぶやきやコメントを多言語同時翻訳システムと連動させ、あらゆる国籍の参加者が言語の垣根を越えて応援や交流ができる場を提供する。

エ 大会参加者向け特典の協力店舗等の開拓及びWMG応援隊の募集
大会参加者へのホスピタリティと競技開催地の地域活性化を促すため、大会期間中に大会参加者が割引等の特典を受けられるよう、店舗・施設の開拓及び条件等の調整、加盟店舗の共通掲示物の制作を行う。
加えて、大会機運醸成のため「WMG応援隊」を公募する。

オ 交流拠点における全国の魅力紹介事業
交流拠点において、各都道府県の紹介を行う PR ブースの設置や PR 映像を放映することによる競技日前後の全国各地への訪問機会の創出

※ 開催地域での交流をより促進させるため、府県政令市実行委員会が取り組む交流事業に対して支援調整を行う。

② 多言語翻訳交流事業 9,000 【新】
国際大会として様々な言語を話す人の参加を想定し、複数の言語が混在しても本人の言語に翻訳できるシステムで交流を可能とする。「WMG.ステーション」への機能付加に加え、競技ごとのコミュニティ（掲示板）の開催前展開や期間中の緊急情報の発信伝達に役立つ。

③ ^{フラワー}生花リレー事前イベント 823
開催府県政令市（13 府県市）の取組が 1 つに集まり開会式で結実するというストーリー性を表現するとともに、13 府県市にて各シンボルフラワーを代表者からスフラへ手渡すパスセレモニーを実施し、受け取ったスフラが 13 府県市の競技会場や観光名所を巡る映像の撮影、編集を行う。※事業費は撮影に使用する花材調達費

④ V I P 等対応計画等の策定 4,502
大会関係者（V I P 等）の対応に係る基本方針、実施計画及び各種マニュアルを策定する。

⑤ 関係団体との連絡調整 1,600
交流拠点でのイベントを実施するにあたり必要な関係省庁、関係団体、開催府県政令市等に対し、連絡調整・協議を行う。

4 ボランティア運営 104,186

大会を運営するにあたり必要な延べ 60,000 人のボランティアの確保に努めるとともに、各ビレッジや競技会場等に必要ボランティア配置数について検討・調整を行う。
また、ボランティア活動を行っていくうえで必要な知識を得るための研修や、ボランティアキットの作成を行う。

① ボランティア運営・研修業務 30,777
ボランティアの募集や各会場への配置計画の確定等を行うとともに、ボランティアが活動に必要な知識を習得するための研修を行う。

② 募集広報・関係団体との連携 3,289
大会延期に伴うボランティア募集に係るポスター・パンフレット等の広報物を作成するとともに、企業・団体への参加呼びかけを積極的に行い、大会ボランティアの確保に努める。

③ ボランティアキット作成 65,120
ボランティア従事者に配付するポロシャツ、サコッシュ、タオル等のキットを作成し、研修時に配付する。

- ④ ボランティア保険 5,000
安心してボランティア活動に従事いただけるよう、組織委員会において傷害保険に一括加入する。

5 安全対策・危機管理 75,433

大会を開催する上でのリスク分析（洗い出し・評価）結果・大会特性（外国人参加者比率が40%超である・高齢者や障がい者の参加も多い・広域開催である）・競技特性を踏まえ、「事前対策（保険加入を含む）」及び「有事対応」の具体化を図る。

- ① 危機管理対策 17,511
リスク分析結果・大会特性・競技特性を踏まえ、具体的な安全対策事項の策定、競技・式典会場ごとの中断・中止基準の策定をおこなう。またサイバーリスクやテロリスクなど特殊リスクについても事前対策・有事対応について定める。
- ② 大会保険 40,600
リスク分析結果・大会特性・競技特性を踏まえ、業務遂行賠償責任保険・サイバー保険の継続加入及び準備期間中・開催期間中に大規模災害やテロ等が発生し大会が中止となった場合に備えた大会中止保険に加入する。
- ③ 危機管理にかかる大会開催支援アドバイザー 3,407
安心安全の大会開催に向けて、リスクマネジメント、サイバーセキュリティー、外国人参加者向けの医療救護体制の構築等専門的知見から助言を受ける。
- ④ システム障害・サイバー事故対応 13,915【新】
組織委員会事務局内のPC及びネットワークの障害やサイバー事故に対応するため、ネットワークの監視やPCの操作ログの取得など、セキュリティーの強化を図るとともに、障害・事故の際の初動対応やサポート体制の構築を行う。

6 観光施策 24,623

スポーツツーリズムの観点から、国内外の参加者の満足を得られるような本大会らしい質の高い観光プログラム（WMG2021 関西特別体験プラン）を提供するとともに、参加者の利便性に配慮した大会専用の観光情報プラットフォームを構築し、大会参加者が開催エリアを周遊観光できる仕組みを作る。

- ① 観光事業の基盤となる仕組みづくり 1,180
競技開催地の観光情報を発信するとともに、WMG2021 関西特別体験プランの販売（検索、予約、決済）が可能なサイトを運用する。
- ② 掲載済みのプラン磨き上げ及びサポート体制の構築 10,560
参加者に対してより訴求力の高いプランとするため内容や付帯サービスの見直し、国内参加者向けへの価格の変更、競技実施日程に対応した設定日の入力等のコンサルティングを実施。
- ③ 新規プランの造成支援 12,883
新規プランの造成について未実施の府県政令市実行委員会に対して造成支援を行う。また、必要に応じては組織委員会においても新規プランを造成する。

7 宿泊施策 35,099

大会の広域性を勘案し、参加者目線に立った安全・安心な宿泊環境を提供するため、宿泊センター（宿泊業務受託旅行会社内）を設置し、宿泊施設の再仕入れ業務や申し込み、問い合わせ対応などの宿泊業務全般にかかる業務及び宿泊施設検索と予約がワンストップで行える大会参加者用宿泊予約サイトを運用する。

① 宿泊センターの運営等 25,940

宿泊困難地対応と実行委員会や開催市町の意向（地域内宿泊）を組み入れた施設提供を実現する。2021年5月のエントリー時にあわせ、WMG宿泊センターにおいて、パートナーホテルの参加者用客室の事前確保（再仕入れ）やエントリー状況、予約申込状況等を踏まえ、客室の追加調整やパートナーホテルの新規設定等の対応を行う。また、予約サイトでは対応できない特殊な手配要望についても、WMG宿泊センターにおいて専用のオーダーシートを用意し、多様なニーズに対応する。

② 公式宿泊予約サイトの運用 9,159

大会参加者用宿泊予約サイト（2021.5運用再開予定）について、周遊観光を希望する参加者等が、様々な条件・エリア指定で宿泊施設を検索できるオンライントラベルエージェント（OTA）の比較サイトを運用する。

8 交通施策 68,291

参加者がストレスなく競技に参加し、競技後も観光資源あふれる関西の地を存分に楽しんでいただける交通手段の提供に取り組む。

① 参加者がストレスなく移動（競技参加）できる交通体制の整備 27,891

ア 広域シャトルバスの確保

府県市をまたぐ輸送等広域的な対応が必要で会長が認めるものについて、組織委員会が広域シャトルバスを確保する。

イ 域内シャトルバスの調整

バス集約センターを設置し、府県政令市実行委員会域内で利用するバスの調達・調整、効果的なバス利用、区域外配車等を一元的に対応する。

ウ 交通事業者が発行する交通企画券の販売

組織委員会が指定する交通事業者が発行する交通企画券等に対して、受託事業者の独自の販売体制を活用した販売体制の構築に向け調整を進める。

② 大会参加者への交通インフォメーションの提供・相談対応 10,400

ア 交通インフォメーションガイド作製

多様な参加者がストレスなく各会場に移動できるよう、一覧性が高く必要な情報が集約された交通インフォメーションガイドを作製する。

イ 交通案内所の運営、交通に関する問い合わせ対応、マニュアル作成

オープニングビレッジ及びセンタービレッジに交通専門案内機能を設置し、参加者への交通案内と各マスターズビレッジの専門サポートを実施する。この交通案内所機能・設置の具体化に向けて検討・調整を行う。また、エントリー開始後におけるヘルプデスクへの交通に関する問い合わせを円滑に対応するための、想定FAQ及び業務マニュアルを作成する。

ウ MaaSを活用した経路検索アプリの構築【新】

WMG2021における競技会場や主要拠点であるマスターズビレッジ（MV）等の情報や開催エリア内の交通に係る情報に加え、関西の魅力あふれる数多くの観光地やイベント情報を一体的に提供する事で、参加者のストレスフリーな移動の実現および競技前後における開催エリア内の周遊観光の促進を図る。

- ③ ADカード・オリジナルパスケース作製 30,000
ア 参加者が開催期間中保有するADカードを参加者キットと同量作製する。
- イ オリジナルパスケース作製
交通パス及びADカードを収納できるパスケースを参加者キットと同量作製する。会場内ではADカードを収納し、会場以外では大会参加者の識別や大会期間内にエリア内で参加者が同じケースを下げて移動する事で機運醸成にも繋げる。また、提示する事で施設の割引利用が可能なネットワークを構築する。

9 大会の機運醸成 107,545

東京オリ・パラを契機に「みる」から「する」スポーツへの転換を図り、エントリー促進につなげるため、大会1年前の公式競技メダルデザインの公表、オリ・パラ終了後のイベント開催や新たなTVCM制作・ポスタービジュアルの刷新、また、HPのコンテンツやグッズ販売の拡充、各地域でのプレ大会やオープン競技の開催等により、大会の機運醸成を推進する。

- ① ポスター・チラシ制作 17,754
大会の知名度向上及びエントリー促進を図るため、大会PRチラシ及びポスターを作成する。また、競技者層・レクリエーション層それぞれに訴求するデザイン、内容によるチラシ等を作成し、様々な場所やイベント等で配付・掲出することで、より効果的・効率的に参加者獲得につなげる。
・チラシ：国内版、外国語版（英/中繁/中簡/韓）
・ポスター：国内版、外国語版（英/中繁/中簡/韓）
- ② 広報グッズ（ノベルティ）製作 7,692
大会の知名度向上およびエントリー者獲得のための広報グッズを製作する。これまでに製作した広報グッズを活用し、不足した分を製作する。
- ③ 各種イベント等でのPR出展（着ぐるみスタッフ派遣費含む） 7,100
国内参加者3万人獲得をめざし、訴求ターゲットをアスリート層とレクリエーション層に分け、それぞれに効果的な広報誘客活動を展開する。今年度については、エントリー状況を随時確認し、重点的に広報が必要な競技・年齢層を見極めながら、効果的なPR活動に取り組む。
- ④ 節目イベントの開催 12,000
大会1年前や200日前、100日前などの節目に誰もがスポーツに触れる機会の創出や大会の魅力を発信することで大会の機運醸成、大会への参加機運の向上を図る。
- ⑤ 大会プロパティ活用促進 5,750
ライセンス事務局を設置し、オフィシャルグッズの企画・商品化・販売や大会プロパティの積極的な活用を促進し、本大会の知名度向上や機運の醸成を図る。
- ⑥ 全国への情報発信 4,510
PRイベントを実施するほか、本大会の魅力を伝える各種コンテンツを作成・様々な機会を活用することで、大会知名度及び大会価値を高め、参加者獲得を行う。
- ⑦ ホームページ等情報発信事業 13,000
大会概要や各競技の情報に加えて、プレ大会やオープン競技、観光・物産など各地域の魅力を伝える新たなコンテンツを作成し、会場地となる市町のPRに寄与する。

- ⑧ ポータルサイトの運用 11,660
大会スローガン「Team Do Sports」のもと、スポーツをする人、させる人、すべての人が集うプラットフォームを運用。すべての人に「する」スポーツを行う機会を提供するために、コンテンツの充実を図り、大会への参加機運の向上を図る。
- ⑨ 大会アンバサダーの運用 12,210
元アスリートや著名人が就任する大会アンバサダーの運用を行い。大会出場宣言やイベントでの稼働などで、わかりやすく大会を印象づけるとともに、参加機運の向上を図る。
- ⑩ 広報戦略にかかる大会開催支援アドバイザー 6,204
大会開催支援アドバイザーを活用し、情報発信、ユニバーサルデザイン等について助言をいただき、効果的な広報活動を実施する。
- ⑪ 各種会議用バックボード作成 200
報道カメラ等が取材対象とする関西広域連合委員会をはじめ、各種会議や記者会見等において、バックボードを作成し掲出することにより、大会名及びスポンサーロゴの露出を行う。協賛企業の追加やコアグラフィックデザインに対応するため、バックボードの修正作成を行う。
- ⑫ 大会マスコット着ぐるみの活用 320
大会マスコット着ぐるみのクリーニング・補修などメンテナンスのほか、イベント等で活用する際に運搬を行う。
- ⑬ 表彰用メダルデザイン企画 3,046
表彰用メダルデザインの発表及び意匠登録を行う。
- ⑭ 協賛セールス推進事業 500
関西の企業を中心に行ってきた協賛セールスを東京オリンピック・パラリンピックスポンサーを中心として首都圏の企業にも拡大し、更なる協賛獲得を目指す。
- ⑮ レガシー創出委員会運営 5,599
リーディングプロジェクトを含むレガシー創出事業やレガシーの成果について、レガシー創出委員会委員への意見聴取を実施するとともに、大会報告書及びレガシー報告書の作成や経済波及効果の測定を実施する。

10 知名度向上（広報PR等） 239,817

メディアパートナーによる TV、新聞等による報道露出及びメディアリレーション活動によって広く WEB や誌面記事等のメディアへの周知を図り、知名度を向上させることで、大会の付加価値を高める。

- ① 広報ツールの改修 28,098
大会知名度やエントリー状況に応じて TVCM や HP バナーを改修し、メディアパートナーPR 事業にて広告出稿を行う。
- ② メディアリレーション活動 10,699
「関西プレスクラブ」や「きさらぎ会」に引き続き入会し、関西圏及び地方メディアへの周知拡大を図る取組を実施するとともに、スポーツ愛好家層に人気のスポーツ・健康雑誌、地方新聞等での本大会への参加促進につなげる記事の掲載や、WEBを活用した広告掲出などの情報発信を行う。

③ メディアパートナーPR等事業 200,120
メディアパートナー等との協賛契約に基づく広告出稿等を行い、大会知名度や参加機運の向上を図る。

④ 知名度調査 900
広報誘客活動の指標とするため、本大会の知名度調査を実施するとともに、調査結果を分析することにより、広報活動計画について検証・再考を行う。

11 参加者獲得 ※国内・海外 59,580

広報誘客戦略の考え方のもと、これまでの広報活動の効果を検証しつつ、国内については競技者層、スポーツ愛好家層、企業への働きかけなど、ターゲット別に効果的な誘客活動を展開する。今後は、スポーツ愛好家やスポーツに関心をもつ方々へターゲットの裾野をひろげ、国内3万人の参加者獲得をめざす。

海外からの誘客については、コロナウイルス感染の影響により競技者等への直接訴求が困難な状況であることから、「対面から非対面へ」「マスからパーソナル（コネクション）へ」にアプローチ手法を変更するとともに、コロナの感染状況や出入国制限緩和の状況をみながら国別にきめ細かな誘客戦略を立て、着実に参加者獲得につなげる。

① 広報媒体の活用 4,925
本大会の魅力や概要について、各競技大会プログラムや機関誌、SNS等への広告出稿を行い、広く一般向けに情報発信するとともに、さらなる知名度向上に取り組む。エントリー状況を見ながら、より効果的な媒体での発信に取り組む。

② 海外類似大会でのPR事業 9,195
過去大会参加者が多い豪州・欧米地域で開催される類似大会で、大会参加者に対し関西大会への参加を直接働きかけるとともに、各国のマスタースポーツ関連組織や行政機関、競技団体に対し、今後の広報誘客連携について協議を行うなど、海外からの誘客に向けた積極的なプロモーション活動を実施する。コロナ禍により大会の延期・中止等が相次いでいることに鑑み、今年度は下記の大会をターゲットとする。

- ・オーストラリアンマスタースゲームズ（豪州/VJ事業・国負担1/2）
- ・パンパシフィックマスタースゲームズ（豪州/VJ事業・国負担1/2）
- ・ハンツマン・ワールドシニアゲームズ（米国）

③ 重点国・地域へのPR・誘客事業 14,860
コロナウイルスが未だ終息を見ない現状を踏まえながら、「デジタル+コミュニケーション」の考え方を軸に、当面、職員現地派遣は最小限にとどめ、海外のスポーツ愛好家が好むスポーツ関連雑誌・情報コンテンツへの広告出稿やSNSを通じた情報発信を行うことにより、ターゲット層への訴求を行う。

次回WMG開催地の台湾やリピーター層が多い大洋州地域に重点を置く。地域性に加え、エントリーが少ない競技や、マイナー競技が盛んな地域へのアプローチなど、参加者獲得への直結を念頭にメリハリをつけた誘客活動を実施する。

④ 旅行会社を活用した海外誘客委託事業 720
海外を拠点に海外在住者を対象として営業展開している旅行会社と海外からの大会参加者拡大を目的とした連携を行い、条件付きのインセンティブ契約を結ぶことにより海外の旅行会社の営業による大会の周知や情報発信、誘客活動についての協力を依頼する。

⑤ 関係機関を活用した海外PR事業 540
行政機関、競技団体、日系企業など海外に連携先をもつ関係機関に対し、ポスター、チラシ等を提供し、海外における大会周知、情報発信について協力依頼するとともに、必要に応じて協議を行う。

- ⑥ 過去大会参加者等によるネットワークづくり 340
過去の大会参加者等による座談会を開催し、本大会の意義・価値を共有するとともに、今後の広報活動に参画いただくなど、参加者を通じたネットワークを構築し広報活動につなげる。
- ⑦ 団体エントリーのオリジナルグッズ製作 4,000【新】
ターゲット層の中で大きなウエイトを占める働く世代が参加しやすい環境づくりのため、50名以上の団体エントリーへの特典として贈呈するオリジナルグッズを製作。
- ⑧ TSUNAGU 推進事業 10,000
アスリートネットワーク及び日本アスリート会議と連携し、各府県域レベルで開催される地域でのスポーツ関連イベントにアスリートを派遣し、アスリートによる競技実演やスポーツ教室等を開催する。
- ⑨ 大会 HP での全国観光地及びホストタウン情報の発信 15,000
全国観光地や東京 2020 ホストタウンの魅力を大会ホームページで発信することにより、海外からの訪日意欲を掻き立て、大会への参加を促進する。

12 組織委員会運営 10,330

幹事会、常任委員会および総会の開催など、組織委員会の運営を行う。

- ① 組織委員会運営事業 1,330
組織委員会を運営するために様々な事務を行うとともに、幹事メンバーによる大会運営等にかかる協議を行う。また、関係者に対し組織委員会の活動状況についてニュースレターを発行する。
- ② 常任委員会開催事業 1,000
大会準備や実施に関する重要な事項を協議するため、常任委員会を開催する。
- ③ 総会等開催事業 8,000
関西の府県政令市行政・国・経済界・スポーツ界など幅広い関係者が参集する総会を開催し、大会機運醸成及び成功に向けて全員が一丸となって取り組む。

13 I M G A 連絡調整 1,200

競技会場地等において I M G A との連絡調整等を行う。

14 事務局運営 66,167

事務経費の支弁や理事会の開催など、事務局の運営を行う。

- ① 事務局運営事業 63,977
事務局職員の旅費交通費や臨時職員人件費のほか、事務局運営に係る事務所借上費、印刷製本費、通信役務費等の事務経費を支弁する。また、公益法人として適切な会計事務を履行するため、税理士等の指導・助言を得る。
※上記の他、職員人件費 123 百万円を別途計上
- ② 理事会等開催事業 2,190
法令に基づき、評議員会および理事会を開催する。
 - ・評議員会 年 2 回 (予定)
 - ・理事会 年 3 回 (予定)

【予 備 費】 50,000